

「東京2020オリンピック聖火リレー」を記念して 「十和田市民モザイクアート」を制作します

申請政策財政課政策企画係 ☎⑤6710
(本館3階④番窓口)

3月26日からスタートする「東京2020オリンピック（7月24日～8月9日）聖火リレー」が、6月12日に本市でも行われます。聖火リレーを記念して、市民の「顔写真」でモザイクアートを制作しますので、皆さんの「顔写真」を募集します。このモザイクアートは、聖火リレー関連行事に使用するほか、市役所などに一定期間展示する予定です。

モザイクアートの概要

縦2m×横3mのモザイクアート（縦2cm×横3cmの写真10,000枚で制作します。）

対象 市内に居住、または通学・通勤している人

顔写真の提出方法

① 市内の保育園・幼稚園の園児、小・中学校、高校の児童・生徒
原則、園や各学校が写真データの取りまとめをして、提出することとしています。

② ①以外の人

プリントした写真（1枚に1人が写っているもので、裏面に住所・氏名を記入したもの。写真は返却不可）と写真提供申込書を、持参または郵送（〒034-8615（住所記載不要）十和田市役所政策財政課宛て）により政策財政課へ提出してください。

※写真提供申込書は、政策財政課に備え付けてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

申込期限 2月14日(金)



「がんの時代を生ききる」～地域がん診療連携拠点病院から皆さんへ～

第5回 婦人科のがん ②子宮体がん (全8回)

婦人科のがんとして、前回の「子宮頸がん」に続き、今回は「子宮体がん」を解説します。

【子宮体がん】

子宮体部に発生するがんが子宮体がんです。最近、我が国の成人女性に増えているがんの一つです。そのほとんどは、子宮体部の内側にあり、卵巣から分泌される卵巣ホルモンの作用を受けて月経を起こす子宮内膜という組織から発生することから、子宮内膜がんとも呼ばれています。子宮体がんの患者の90%に不正性器出血が見られますが、それ以外でも不正性器出血が起こるので、出血があったからといって慌てる必要はありません。ただし、一度婦人科を受診しましょう。

子宮体がんの検査は、じかに内膜の細胞や組織を採って調べる細胞診や組織診が一般的です。子宮内膜細胞診では、子宮口から細い器具を挿入し細胞を採取します。細胞診でがんが疑わしい場合、組織診を行います。通常、子宮がん検診という場合は子宮頸がん検

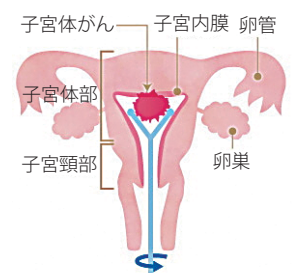
診を指し、子宮体がん検診は含まれないことが多いので注意が必要です。

子宮体がんの治療は手術が主体です。進行症例には、抗がん剤療法や放射線療法などいくつかの治療法を併せて行う集学的治療が行われます。基本的には手術で子宮と卵巣を摘出します。がんが転移しやすいリンパ節も摘出する場合がありますが、がんのタイプや広がりによって手術方法は変わります。

子宮体がんでは、初期であれば生存率は90%以上と良好です。一方、進行がん症例の予後は極めて不良です。

検診を受けることと「おかしいな」と思ったら婦人科を受診することが重要です。

(文責：中央病院副院長 産婦人科 富浦 一行)



中央病院は、厚生労働省から質の高いがん医療を提供している病院「地域がん診療連携拠点病院」として指定を受けています。県内では3カ所のみです。